

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成17年7月

(平成17年6月末調査)

平成17年7月13日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫
経営相談室**

電話 0266(23)4567(代)

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率 【5月】	諏訪公共職業安定所管内	1.20 倍	0.06 ポイント
	岡谷公共職業安定所管内	1.16 倍	0.18 ポイント
手形交換高【6月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	13,443 枚	12.7 %
	金 額	16,066 百万円	8.6 %
うち不渡り発生状況	枚 数	24 枚	25 枚
	金 額	10,862 千円	13,141 千円
車庫証明取扱件数【6月】 (諏訪・岡谷自家用自動車協会管内)		1,463 件	7.7 %
新設住宅着工件数(17年4月～5月) (諏訪地方事務所管内)		388 件	41.1 %

概 況

地域の製造業

輸送用機械、産業機械関連企業に高水準の生産を続ける企業が見られるが、デジタル家電、携帯電話は買手市場で大手メーカーの新製品開発競争は一段と激しさを増している。関連する地域の下請企業の受注状況は区々で総じては横這い状況が続いており、光学機器部品は海外生産が進み受注は弱含みとなっている。

自動車関連下請企業の受注状況は概ね安定しており鋼材の値上がりなどコストに課題を抱えながらも生産活動は高水準のまま横這いとなっているところが多い。

産業機械関連企業の受注は増加、減少区々となっているが開発型企業の受注は増加している。

工作機械では自動車部品やOA機器部品加工および海外向けは引き続き順調な生産が続いている。

地域製造業の概況は幾分回復の気配が見られるものの、鋼材や原油など原材料費の値上りからコスト対応に苦慮する企業も多く足踏み状況が続いている。

商業

6月10日に梅雨入り宣言が出されたが下旬まで雨の日が少なく月間を通して高温の日が続いた。高温と政府の呼びかけもあり「クールビズ」関連商品など売上が伸ばした商品が見られた。

衣料品は、ボタンダウンシャツなど「クールビズ」商品が「父の日」セールとも重なり好調な売れ行きであった。食料品は生鮮三品の売れ行きは変わらないものの野菜の価格が下がるなど客単価は下がっている。アメリカンチェリーなど輸入果物は順調な売れ行きをみせ高温からスイカやペットボトル飲料などにも動きが見られたが食料品総体では横這いとなっている。

電気製品はパソコン、大型薄型TVなど順調な売れ行きとなっているが家庭用エアコンは下旬か

らの降雨により動きが鈍った。

ホームセンターは、家庭雑貨、園芸用品など前年同様の売れ行きとなっている。

観光

6月は例年梅雨時期のため低調な時期となっているが今年は10日に梅雨入り宣言が出たが月間を通して晴天の日が多く高温少雨であった。霧ヶ峰、白樺湖、蓼科高原は日帰り客で賑わいをみせたが宿泊客は愛知万博の影響もみられる。

諏訪の旅館・ホテルの宿泊客は区々となっているが、修学旅行の確保などにより宿泊客を伸ばしたところもあり、総体では台風の影響を受けた昨年を上回った模様。

蓼科・白樺湖・車山方面の日帰り客は多かったものの宿泊客は旅館により区々となっている。総じては前年を幾分割り込んだ模様。

下諏訪温泉は例年低調な時期となっている。宿泊客は前年比増加したところもみられるが総じて前年を割り込んでいる。

諏訪大社の参拝客は 47,816人で御柱が行われた昨年比では減少している。

建設業

市町村の6月の発注工事は 903百万円で前年同月比 356百万円減少した。地元企業への県発注工事は154百万円で、前年同月比 106百万円増加した。県・市町村合わせた6月の公共工事の地元企業受注額は、1,057百万円で前年同月比 250百万円減少した。民間工事では、5月の新設住宅着工件数は 222戸で前年同月比 90戸増加した。

17年4月～5月の累計戸数は 388戸で前年同期の累計着工戸数に比べ 113戸増加している。

建築工事は個人住宅着工件数の増加など幾分明るさもみられるが土木工事の受注環境は変わらず依然厳しい状況が続いている。

県の入札方法の変更に戸惑うところが多くみられる。

雇用面

5月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所 1.20倍 岡谷公共職業安定所 1.16倍で諏訪地域の有効求人倍率は 1.19倍と長野県の 0.99倍を上回っている。諏訪職安、岡谷職安合わせた5月の新規求人(全数)は 1,466人で前月より 125人減少した。製造業からの新規求人は昨年秋以降減少傾向を示しており、人材派遣を含むサービス業からの求人が増えている。

諏訪地域の有効求人倍率は平成15年10月以降連続して1倍を上回っている。

当金庫から見た需資動向に大きな変化はみられない。

業種別動向

1. 電気機器

プリント基板

デジタル家電、携帯電話など生産調整が進み受注は幾分回復しており中核企業の中には高水準の生産を続けている企業が見られる。

コンデンサー

フィルムコンデンサーは在庫調整から幾分受注が減少している。

プリンター

下請け企業の受注状況は増加したところがみられるが総じては横這い状況となっている。インクカートリッジは堅調に推移している。

コンダクター・リレー

安定した生産状況が続いている。

2. 輸送用機械

自動車

自動車部品は材料費の値上がりから収益性は厳しいものの受注は総じて安定しており高水準の横這い状況の生産を続けているが一部に海外移転の影響もみられる。二輪車部品は堅調な動きとなっている。

ピストンリング

メーカーは順調な生産を続けており下請企業の受注は幾分増加している。

船外機

外注企業は高水準のまま横這い状況の受注となっている。

3. 一般機械

工作機械

自動車関連企業やOA機器などの部品加工企業および海外出荷の工作機械は堅調な生産を続けている。

専用機・省力機器

専用機械、省力化機械など産業機械は高水準の生産を続けているところが見られる。液晶関連の部品加工の下請企業に受注が減少しているところが見られる。

搬送用機械

生産は横這い状況が続いているがデジタル家電などの新規受注は幾分減少している。

金型

情報機器や音響機器の金型受注は一部企業に高水準のまま横這い状況のところもみられるが減少したところもあり区々となっている。

アルミダイキャスト

自動車部品や電源機器部品に引き続き高水準の生産を続けているところが見られるが、一時の勢いからは幾分弱まったところもみられる。受注状況は企業により区々となっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ

デジタルカメラは競争激化のなか買い手市場となり新製品開発が一層激化している。デジタルカメラの5月の生産台数は479万台で、前月比2.9%の減少、前年同月比0.7%の増となっている。400万画素から600万画素未満の製品の生産台数が329万台と1番多く、ついで600万画素以上、400万画素未満となっている。600万画素以上は104万台で前月比9.0%増加している。(カメラ映像機器工業会)地域の下請企業の受注状況は親企業により増加減少区々となっている。

プロジェクター メーカー各社の海外生産比率は高まり国内生産は減少しており一部下請企業の受注は減少している。

デジタルミニラボ 機種変更はみられるが引き続き順調な生産状況となっている。
レンズ レンズの生産は海外が主体となっており、プロジェクターレンズも海外生産が主力となっている。レンズ加工はライフルスコープのレンズを含め総じて減少傾向が続いている。

5. 繊維

ニット 秋物ニットの本格生産時期を迎えているが春物ニットの売れ行きが幾分低調だったことから専門店からの発注が遅れ気味となっている。
ホールガーメント（無縫製ニット）の生産は繁忙となっているところがみられる。諏訪ニットファッション（協）では新たな地域ブランド商品開発に向けニットデザインの募集を始めるなど新たな動きがみられる。

6. 食品

寒天 業務用は堅調な売れ行きを示している。健康食品としてTV番組での紹介もあり個人消費が急増し商社、問屋からの注文が増加しているが一部に出荷調整もみられる。

味噌 需要がやや減少する時期を迎えており出荷は前年並となっている。

7. 製材

諏訪地域の5月の木造住宅着工件数は130戸で前月比14戸増加した。（前年同月比52戸増）地域の木材需要は幾分増加したものの角材は落ち着いた動きとなっている。
合板、耐火ボードの価格は幾分弱含みとなっている。プレカットはやや増加している。

8. 建設

公共工事 6月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所5件、林道治山工事関係5件、土地改良工事1件など合わせて11件、契約金額154百万円となっている。17.4月～17.6月の累計契約額は、337百万円で前年5月累計比60百万円の増加。市町村発注工事は、建築工事10件47百万円、土木工事・下水道工事など85件779百万円、その他工事28件77百万円で合計123件903百万円で前年5月に比べ356百万円減少した。

民間工事 5月の新設住宅着工件数は222戸で前年5月比90戸増加した。
建築工事に動きが見られるが土木工事は低調に推移している。

9. 商 業

諏訪地方の6月の天候は10日に「梅雨入り」となったものの下旬まで雨の日が少なく高温の日が多かった。政府の呼びかけによる「クールビズ」は高温とも重なり衣料品および身の回り品などにも波及効果を及ぼした。紳士もの売り場に夫婦連れや男性客などが従来より増えている。「父の日」セールの上は御柱の昨年比では増えている。食料品は客単価が下がっており小売業全体としては弱含みの横這い状況となっている。

衣 料 「クールビズ」により男性衣料品は売れ行きを伸ばし「父の日」セールも前年を上回る売れ行きであった。婦人衣料品など幾分低調で総体では前年並となった模様。

食 料 品 生鮮三品では食肉、鮮魚の売れ行きが幾分戻ってきたものの、野菜の価格が下っており客単価は下がった。輸入果物は売り上げを伸ばし食料品全体では横這い状況となっている。

電 気 機 器 パソコン、薄型大型TVは前月に続き堅調な売れ行きをみせている。家庭用エアコンは下旬の降雨により動きが鈍った模様で早期梅雨明けに期待を寄せている。

自 動 車 諏訪・岡谷を合わせた6月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,463台で、前月比262台増加し前年同月比では7.7%の増加となった。新型の軽自動車の人気は高く、中古車に動きがみられたが普通車の動きは横這いとなっている。

ホームセンター 花樹の苗ものなど季節商品の売れ行きは順調であった。家庭雑貨を含め前年並みの動きとなっている。

デパート 「クールビズ」効果から衣料品や「父の日」のプレゼント商品（身の回り品）など売り上げを伸ばし前月を上回った模様。客単価は幾分高くなっている。

10. 観 光

6月は月間を通して晴天の日が多く高温少雨の天候であった。高原の観光地は日帰り客の入り込みが多く台風の影響を受けた昨年を上回る賑わいをみせたが、地域の宿泊施設は愛知万博の影響を受けている。

上諏訪温泉 旅館・ホテルにより宿泊客は増加減少区々となっている。修学旅行の受け入れにより賑わったホテルも見られた、総体では台風の影響を受けた前年を幾分上回っている。

蓼科・白樺湖・車山 天候に恵まれ日帰り客の入り込みが多かった。宿泊客は施設により区々となっており総じては前年を下回っている。リフトなど観光施設は入り込み客が多く賑わった。

下諏訪温泉 宴会など利用客が増加しているところがみられるが、宿泊客は総体では前年よりは減少している。

諏訪大社 上社・下社の参拝客数は47,816人で前月より12,704人減少した。

最近の長野県経済の動向

(2005年7月1日)日本銀行松本支店

2005年5月の主要経済統計および企業ヒアリングを中心に取りまとめ。

長野県経済は、全体として回復に向けた動きが強まりつつも、足踏み状態から脱し切れていない。

足許の最終需要の動向をみると、**設備投資**は、製造業を中心に、05年度の計画が高水準であった前年を上回っており、増加を続けている。**公共投資**は北陸新幹線関連等の大型案件や災害復旧関連案件が多数みられたことから、単月では前年を上回り、**住宅投資**も、貸家、分譲を中心として、足許前年を上回っている。また、**個人消費**も食料品、耐久消費財を中心に、総じてみれば底堅く推移している。一方、**輸出**は、05年度上期は前年を下回る見込みとなっており、弱含んでいる。

以上のような最終需要の下で、生産は、需要好調な自動車・産業機械向けの生産は高水準を続けている一方、IT関連財の生産は、在庫調整の進捗を受けて下げ止まっているものの、なお持ち直すまでには至っていない。このため、全体としては依然足踏み状態を脱していない。また、製造業の05年度上期の収益は、前年を下回る見込みとなっているが、引き続き高水準を維持している。こうした中、雇用面をみると、有効求人倍率が前月比上昇するなど改善傾向を辿っている。また、所得面は、生産の足踏み感により所定外給与が減少しているものの、全体としては持ち直し傾向にある。

個別業界の動向

(生産)

半導体関連では、デジタル家電向けの在庫調整が進捗する中で、リードフレームの生産は幾分減少したものの、シリコンウェハー、半導体素子の生産は横這い圏内の動きとなっている。

電子部品では、抵抗器の生産は、北米向けの自動車部品の伸び悩みから幾分減少しているものの、デジタル家電向けの在庫調整が進捗している中で、コンデンサの生産は横這い圏内での推移となっている。この間、モーターの生産は、海外メーカーとの価格競争や海外への生産移管の影響により低調に推移している。

情報機器では、県内生産分のパソコン(ノートブック型)は、新モデルの販売好調を受けて、生産を増加させている。また、プリンターは、フォト機能を充実させた製品の販売好調を背景に、堅調な生産を続けている。一方、デジタルカメラは、販売の伸び悩みを受けて、生産を減少させている。

自動車部品は、新型車投入効果がみられる国内向けとともに、海外向けも堅調なことから、高水準の生産を続けている。

工作機械は、国内外の自動車メーカーや海外の情報関連機器メーカー向けを中心に、生産は一段と増加した。

味噌の出荷は幾分減少した。

(個人消費)

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)をみると、気温低下の影響もあって、夏物衣料の販売が不調であったものの、ウエイトの高い食料品の販売が底堅く推移していることから、全体では3ヶ月連続で前年を上回った。

家電販売は、デジタル家電や白物家電の好調を背景に堅調な販売が続いている。

自動車販売をみると、新型車投入効果により小型車、普通車、軽四輪とも前年を上回ったことから、全体では7ヶ月連続で前年比プラスとなった。

(建設)

県内建設関連企業における**民間工事新規受注額**は、一般企業の設備投資案件が増加したことから、引き続き高水準となった。

公共工事請負額は、県発注分が災害復旧関連工事により増加したほか、国、市町村発注分についても大型工事の発注により前年に比べ大幅に増加したことから、前年を上回った。

住宅着工戸数は、貸家、分譲の増加を主因に、前年を上回った。